

させようと、佐野利器ら教育当事者に話を通すことなく、1939（昭和14）年に世田谷に中学第4学年修了者が入学できる3年制予科理科を新設した。

また学生数の増大に対応するために、工学部第3研究所（現・2号館）と工学部第4研究所（現・3号館）を駿河台に建設した。これに対して、高等工学校発足以来、日本大学工学系の発展に力を尽くしてきた佐野利器は、実験設備や教育施設の充実を唱え、学生増大計画に真っ向から反対した。経営陣と激しく衝突した結果、佐野は1939年6月22日をもって大学を辞任、佐野によって招かれていた教授陣（建築学科を辞めた教授だけでも16名、他学科や予科を入れると30名以上）も佐野に同調して相次いで退職した。

退職者は、建築学科に限っても、市浦健、岸田日出刀、浜田稔、船越義房、渡辺要、伊部貞吉といったメンバー

の名前が挙げられる。いずれも戦前から戦後にかけての建築界をリードした人々である。このような教授陣を失って学生が黙っているわけがなく、建築学科を中心としてストライキが行われた。学生と経営陣とが激しくぶつかった結果、大学は教育人事面での充実を図り、学問の向上に邁進することを約束して、この紛争は終結した。佐野が日本大学顧問として復帰するのは1947（昭和22）年のことである。

この出来事は、佐野利器の考える工学教育の理念が、旧・1号館という建物に具現化されていたことを間接的に物語ってはいないだろうか。都心に建ち、狭小ながら充実した実験実習施設を兼ね備えた1号館は、優れた教授陣と青年たちの熱意があふれる“学びの器”であった。本学の歴史はここから始まったのである。

（おおかわみつお・専任講師、建築史）

本年3月をもって退職された木村翔教授の記念講演会（於：発明会館）と記念パーティー（於：赤坂プリンスホテル）が6月2日に、吉田燦教授の記念講演会と記念パーティー（於：アルカディア市ヶ谷）が5月19日に催された。研究室OB・OGや学内外関係者多数が出席し、先生方との思い出話に花を咲かせ、盛況のうちに幕を閉じた。両先生は建築学科の環境工学・設備学分野の発展に長年にわたって尽力され、多くの研究成果を残された。建築学科教室一同感謝申し上げますとともに、ますますのご活躍を願っている。



木村翔教授の記念パーティー



吉田燦教授の記念パーティー

教室ぶろむなーど

佐藤慎也助手の「くまもとアートポリス 2000 21世紀へのアートポリスストリート展」が、「JCD デザイン賞 2001 優秀賞」（社）日本商環境設計家協会主催）を受賞した。受賞作品は「駿建」2001年新学期号に掲載されている。

今春、不動産科学専攻を修了した下記学生2名が（社）日本不動産学会賞湯浅賞（大学院研究賞）を受賞した。

- ・「都市内運河の特性と空間構成に関する歴史的研究 東京都江東区の運河を事例として」猪俣弘樹氏（平成12年度大学院不動産科学専攻博士前期課程修了・修士(工学)）指導：横内憲久教授
 - ・「日本におけるリバース・モーゲージ制度の利用促進に関する研究」劉銑鍾氏（平成12年度大学院不動産科学専攻博士後期課程修了・博士(学術)）主査：小嶋勝衛教授
- なお、同賞は該当年度（今回は平成12

度）に大学院に在籍し、学位を授与された修士論文・博士論文（授与見込みを含む）の優れた研究論文等を対象に（社）日本不動産学会から授与される。

2001年3月24日卒業式前日、「AD2001」がアストリッド・クライン氏、小泉雅生氏、佐藤光彦氏、杉千春氏（高橋真奈美氏）、田島夏樹氏、西沢立衛氏の6名の建築家を審査員に行われた。提出された17作品から投票による1次選考で7作品が選ばれ、2次選考のための発表が行われ、議論の末、「AD2001」は長谷川洋平君「ハイブリッドライブラリー」（指導：高宮真介先生・岡田章先生）と、海老原綾さん「ツチコミタウンプロジェクト」（写真）（指導：今村雅樹先生・川口とし子先生）の2作品に決まった（「新建築」5月号に関連記事掲載）。



海老原綾さん「ツチコミタウンプロジェクト」



駿建目次

（2001.7 Vol.29 No.2 通巻114号）
表紙「静岡スタジアム“エコパ”」
設計：佐藤総合計画・斎藤公男JV
撮影：鈴木健（M2）

ホリスティックな構造デザインをめざして

静岡スタジアムのデザインと構造 2
実施コンペ佳作受賞 4
私と建築 6

記憶の中の校舎

理工学部旧1号館解体調査報告 [その1] 8
教室ぶろむなーど 12

『駿建』 発行者：斎藤公男：千代田区神田駿河台1-8-14 日本大学理工学部建築学科教室 Tel.03(3259)0724 <http://www.arch.cst.nihon-u.ac.jp>
平成13年度編集委員：半貫敏夫・岡田章・大川三雄・蜂巣浩生・羽入敏樹・渡辺富雄・佐藤慎也・佐藤直樹 印刷：奥村印刷株